



宮川の清冽な湧水は、位山と川上岳を結ぶ峰と、それらを結ぶ尾根の裾地から流れ始めます。東や南の絶壁の裾山、下方から湧き出す水は、ツメタ谷となって溪谷の源流となります。そして川上岳の山のふもと近くの、なだらかな丘地の水を集めたヌクイ谷の温かい水と合流します。その流水が一之宮町の盆地までの源流・溪谷をつくりだしています。

飛騨の宮川は、日本全国の十数流もある宮川と称する河川の中でも、最も大河と呼ばれています。宮川は、飛騨市北端の富山県境で高原川と合流し、神通川となって、富山湾(日本海)へ流れます。宮川は、わが国大自然の中でも最大の神々の川なのです。

また、一之宮町の位山には中部日本の分水嶺があります。分水嶺とは、水の流れの方向を分ける境界をなしている山の峰のことです。位山に流れた北斜面の溪水は、餅谷川・常泉寺川となって宮川に注ぎ、神通川を経て日本海へと流れていきます。

もう一方の南斜面の溪水は山之口川・無数河川となって益田川に注ぎ、飛騨川・木曾川を経て太平洋へと流れていきます。

※清冽(せいれつ):水などが清らかに澄んで冷たいこと。



0001_宮川の上流から下流まで



0002_宮川の上流から下流まで



0003_宮川の上流から下流まで



0004_宮川の上流から下流まで



0005_宮川の上流から下流まで



0006_宮川の上流から下流まで



0007_宮川の上流から下流まで



0008_宮川の上流から下流まで



0009_宮川の上流から下流まで



0010_宮川の上流から下流まで



0011_宮川の上流から下流まで



0012_宮川の上流から下流まで



0013_宮川の上流から下流まで



0014_宮川の上流から下流まで



0015_宮川の上流から下流まで



0016_宮川の上流から下流まで



0017_宮川の上流から下流まで



0018_宮川の上流から下流まで



0019_宮川の上流から下流まで



0020_宮川の上流から下流まで



0021_宮川の上流から下流まで



0022_宮川の上流から下流まで



0023_宮川の上流から下流まで



0024_宮川の上流から下流まで



0025_宮川の上流から下流まで



0026_宮川の上流から下流まで



0027_宮川の上流から下流まで



0028_宮川の上流から下流まで



0029_宮川の上流から下流まで



0030_宮川の上流から下流まで



0031_宮川の上流から下流まで



0032_宮川の上流から下流まで



0033_宮川の上流から下流まで



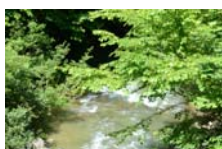
0034_宮川の上流から下流まで



0035_宮川の上流から下流まで



0036_宮川の上流から下流まで



0037_宮川の上流から下流まで



0038_宮川の上流から下流まで



0039_宮川の上流から下流まで



0040_宮川の上流から下流まで



0041_宮川の上流から下流まで



0042_宮川の上流から下流まで



0043_宮川の上流から下流まで



0044_宮川の上流から下流まで



0045_宮川の上流から下流まで



0046_宮川の上流から下流まで



0047_宮川の上流から下流まで



0048_宮川の上流から下流まで



0001_宮川朝市



0002_宮川朝市



0003_宮川朝市



0004_宮川朝市



0005_宮川朝市



0006_宮川朝市



0007_宮川朝市



0008_宮川朝市



0009_宮川朝市



0010_宮川朝市



0011_宮川朝市



0012_宮川朝市



0013_宮川朝市



0014_宮川朝市



0015_宮川朝市



0016_宮川朝市



0017_宮川朝市



0018_宮川朝市



0019_宮川朝市



0020_宮川朝市



0021_宮川朝市



0022_宮川朝市



0023_宮川朝市



0001_宮川橋



0002_宮川橋



0003_宮川橋



0004_宮川橋